

自衛隊記念日レセプション林禎二大使挨拶（要約）

2022年11月17日用

御出席の皆様、本日皆様を大使公邸にお迎えし、自衛隊記念日レセプションを開催できることを誠に喜ばしく思っております。

自衛隊レセプションは、日本と伯や諸外国間の防衛・安全保障分野の関係強化を願って行います。Covid-19のパンデミックのため、実に2019年以来3年ぶりの開催です。ここに伯海軍司令部参謀長レナート・ロドリゲス・デ・アギア・フレイレ海軍大将を初めとする多数の方々を招待できたことを心から感謝します。

日本と伯は、長い友好の伝統を持ち、そして、民主主義、人権の尊重、法の支配といった基本的価値観を共有する戦略的グローバル・パートナーです。日本は、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場から、国際社会の平和と安定に積極的に貢献しています。また、伯も積極的にPKOに関与しており、国連を重視しております。この様に世界の平和安定のために両国は十分に協力することができます。

安保・防衛分野については、2020年12月に伯国防大臣と我が国防衛大臣との間で「防衛協力覚書」が署名されました。この覚書を基礎に、パンデミック終息後、協力がさらに進むと期待しております。

更に去る9月には林外相とフランサ外相がニューヨークで会談し、国際秩序が揺らぎ法の支配の徹底が重要になる中、来年ともに安保理非常任理事国を務める両国が安保理改革を含む国連全体の機能強化に関して連携していくこと等を確認しました。

こうした安保・防衛分野での関係強化に当たっての、関係者の方々の温かいご支援、ご協力に、改めて感謝申し上げます。本レセプションが日本とブラジルの絆を深めることを祈念して、私の挨拶とさせていただきます。